

第十三回 衆議院國有林野法案外三件審查特別委員會速記錄 (第五號)

明治三十二年二月二十一日午後二時三十九分開議

○委員長(杉田定一君) 是カラ開會致シマス

○(出水彌太郎君) 私ハ先決問題トシテ動議ヲ提出致シマス、其譯ハ私共ガ提出致シテ居リマス此社寺林地保管法案ノ修正スルカ、或ハ其儘カ、之ヲ議スルカ、若クハ林野法案ト下戻法案ノ兩案ヲ議スルト云フコトニナレバ、私ノ案ノ意思ハ、其中ニ籠ッテ來ルト云フコトニナル、斯ウ云フ結果ガ出來テ來マス、私共ノ提出シマシタ案ヲ議スルカ、議サヌカト云フ、其先決問題ヲ先キニ決議シテ置キタイト思フ、ソレニ就キマシテ其理由ヲ——私ハ議シテ頂ク必要ガアルト云フ理由ヲ、聊カ申上ゲタイト思フ、述ベマシテ差支ゴザイマセヌカ

○委員長(杉田定一君) 併シドウデゴザイマス、アナタノ此社寺林地保管法案又國有山林原野整理處分ニ關スル建議案ト云フノガアリマスガ、併シ是ハ森林原野下戻法律案ト又一方ノ林野法案、是ガ議シナレバ、自然ノ結果トシテ、或ハソレダケノ御精神ガ貫徹スルヤウニ——此議事竝ニ決議ノ模様ニ依ッテ、或ハ御精神ガ貫徹シテ、議スルニ及バヌト云フコトニナルカモ知レマセヌ、ソレハ免ニ角林野法案ト下戻法案トヲ議決シタ後トノコトニナスツラドウデスカ

○(出水彌太郎君) ソレガ下戻法案ト云フモノト、林野法案ト云フモノ、精神ト、私共提出致シマシタ精神ト違フノガアル、ソレデ其先キニ議シテ頂カナケレバナラヌト云フ必要ガアル、必ズ精神ガ同ジデアリマセヌカラ、林野法案ト下戻法案ヲ議シタ後、議スコトガ出來ナイト云フコトニナル

○(中村彌六君) 今議ス議サヌト云フ御話デゴザイマスガ、委員會ニ於テハ、審查ヲ委託サレタモノハ、必ズ議サニヤナラヌノデス、故ニ議スカ議サヌカト云フ先決問題ハ、決シテ論ズベキデナイ、即チドウシテモ議サニヤナラヌ、議シテ廢案ニスルカ、或ハ之ヲ修正スルトカシテ、議會ニ必ズ報告セニヤナラヌ、議ス議サヌト云フコトハ、委員會デハ出來ナイコトデアリマス

○(出水彌太郎君) 第一著ニ先決問題トシテ、議シテ頂キタイ

○(中村彌六君) ソンナラ宜シイ

○(關信之介君) 私モ此事ハ第一著ニ議スコトハ、無用ナコトダラウト思ヒマス、何故ナレバ此ニ法案ノ中ニハ、蓋シ文字或ハ事實ノ上ニ、多少ノ違ヒハアルカモ知レマセヌガ、是ニ附イテハ、此ニ法案ガ成立シタナラバ、蓋シ出水君ノ法案ト云フモノガ、自然ニ必要ガナクナルダラウト思ヒマスカラ、私ハ第一ニ議スト云フコトハ、往カヌト云フデアリマス

○(高岡忠郷君) 今出水君ノハ此國有林野ト下戻法案トヲ議スル以前ニ、自己ノ提出ノ案ヲ議スルノ必要ガアル、其精神モ違フカラ、先決問題トシテ議サ

ニヤナラヌト云フ精神ガ分ラヌト思ヒマスカラ、出水君ニ發言ヲ許シテ、意見ヲ聞キタイト思ヒマス

○委員長(杉田定一君) ドウデゴザイマス、唯今中村君ノ御話ノ通り、ドウシテモ議サズニ置クト云フ譯ニ往カヌ、何レ是ハ議サナケレバナラヌカラ……

○(出水彌太郎君) 第一著ニドウカ議シテ頂キタイ

○(首藤陸三君) 今マデ調査シタモノカラ、議シテ往ッテ、後ト廻ハシニシタラドウデスカ

○(出水彌太郎君) 私ガ意思ヲ述ベタイデスケレドモ、述ベテ御聞キ下サリマシテ、是ハ別ニ議スル必要ガナイト云フコトヲ御認メニナリマシタラ、否決ニナリマシテモ、ソレハ苦シウナイ、免モ角モ別ニ案ヲ出シタト云フ趣意デ、一應諸君ニ……

○委員長(杉田定一君) 先キニドウシテモ決議セニヤナラヌト云フ趣意ヲ、御話ヲ願ヒタイ

○(出水彌太郎君) 私ガ案ニ附キマシテ、斯ウ云フ譯デ諸君ニ御聞キヲ願ヒマシテ、ソレデ御議シヲ願ハヌケレバナラヌト云フ必要ガアラウト思フ、第一ニ社寺上土地林ト云フモノハ、證據ノ有無ニ拘ラズ、古來其社寺ノ所有タリシコトハ顯著ナモノデアアル、故ニ普通ノ官林トハ之ヲ區別シテ、特別ナ法律ヲ制定セラレルコトハ當然デアラウ、斯ウ云フノガ第一デアリマス、第二ニハ、社寺上土地林ト云フモノハ、其社寺ノ維持保存ノタメニ、寄附又ハ賣却シタルモノデ、舊藩封土トハ同一ニスベカラザルモノデアアル、然ルニ之ヲ同筆法ニシテ、上土地タルモノト共ニ同視スルト云フノハ、甚ダ其理由ガ分ラナイ、第三ニハ、社寺經濟ノ大部分ヲ割イテ上土地シタト云フコトハ、恰モ社寺ノ財產ヲ悉皆沒收シタト同様ナ結果ニナッテ居ル、之ガタメニ社寺ガ維持保存ノ資力ヲ失ヒマシテ、將來社寺ノ朽廢ノ跡ヲ見ルコトハ、誠ニ國家ノタメニ默視スベカラザルコトデアアル、第四ニハ、社寺上土地林ノ反別ハ、全國官林ノ反別ノ百分ノ一強ヨリナイノデアリマス、之ヲ社寺ニ還附又保管セシムルモ、國庫ノ收入上何程ノ影響モナイノデアアル、假リニ多少影響アリト致シマシテモ、社寺ノ維持保存ヲ必要トスルノ今日、國家ノ義務トシテ社寺ヲ保護スルコトハ當然デアラウ、斯ウ云フノガ私ノ案ノ要旨デアリマスルカラ、此下戻法案若シクハ林野法案ノ如キハ、詰リ一般ノ國有林野ヲ法律ニ制裁スルト云フ、其法律デアルト云フナラバ穩ヤカデゴザイマス、其中ニ社寺ヲ混ゼルト云フコトニ致シマシタナラバ、即チ唯今申スル四要點ノ社寺ニ、是ダケノ權ガアルト云フモノト、一般ノ官林ト同視スルコトハ、甚ダ穩カデナイ、斯ウ云フ理由デアリマスルカラ、是非此社寺ト云フモノハ——社寺上土地ト云フモノ

ハ、社寺ニ保管セシメタイ、ソレカラ少シク長クナリマスケレドモ、其理由ヲ細カニ申上ゲヤウト思ヒマス、私共ハ國有林野ノ中社寺ノ上土地株ハ、他ノ林野トハ頗ル性質ヲ異ニシテ居ルモノト思ヒマスルノミナラズ、其形跡即チ形ニ於テモ亦餘程違ッテ居ルノデアリマス、一般ノ上土地株ニハ、種々ノモノガ包含シテ居リマス、之ヲ處分スルニハ、即チ政府案ノ如ク證據ニ據ルカ、或ハ慣例若クハ事情等ニ依ッテヤラナケレバ、底止スル所ガアリマセヌ、獨リ社寺上土地ノ境外上土地株ト申シマスモノハ、其區域ガ大小廣狹等ガゴザイマシテモ、性質ニ至ッテハ殆ド同一ノモノデアリマス、尤モ往昔ノ來歴ニ遡リマシレバ、或ハ皇室又ハ藩主ヨリ寄附シタモノガアリマスルシ、或ハ數人又ハ一個人ヨリ寄附シタモノガアリマス又此社寺ノ私費ヲ以テ買得シタモノガゴザイマス、其成立ハ同一デゴザイマセヌガ、既ニ社寺ノ境内ト變ジタ以上ハ、之ヲ除地トシテ國役負擔ノ義務ヲ免ジ、其社寺ノ所有トシテ、其收益ヲ以テ社寺ヲ維持保存シタト云フコトハ、明ラカデアアル、即チ社寺ノ私費ヲ投ジテ以テ、之ヲ植林シタリ培養致シテ保護修飾シタモノハ、長キハ千年以來若シクハ數百年來一日ノ如クナシ來ッタト云フ事蹟ハ、既ニ諸君ニ於テ十分御承知ノコトデアラウト思ヒマス、然ルニ地租改正ノ際ニ、官民有地ノ處分ヲナシタルト同ジク、社寺ノ境内ヲ法要祭典ノ用ニ供スル分ダケヲ除ケテ、其他トヲ分界シ、法要祭典ノ用ニ供スル必要ノ小部分ヲ、現境内地ト稱シテ從前ノ如ク除地ノ儘其社寺ノ用ニ供シ、其他ノ大部分ヲ境外林ト稱シ、上土地ノ處分ヲシタノハ、甚ダ穩カデナイ處置デアアル、畢竟是等ノ處置ハ、三百年來幕府政治ノ壓制ヲ受ケテ居ッタ際デアリマシテ、官尊民卑ト云フ習慣ガ、未ダ褪メマセヌ有様デアリマスカラ、而モ唐突ノ處分ニ狼狽シ、唯御無理御尤モ唯命是從フト云フ時代デアリマスカラ、斯ノ如キ無道理ノモノガ出來タコトデアラウト思フ、併ナガラ今日ノ如ク人智ノ進歩ニ伴ヒマシテ、不道理ト云フコトヲ悟リマシタ以上ハ、是ガ還附ヲナスガ當然デアアル、故ニ前年來此事ヲ政府ニ請求シマシタガ、曩ニ太政官又ハ地租改正事務局ノ令達等ガアリマシテ、其容レタモノハ殆ド稀デアアル、今ヤ政府ニ於テハ、サウ云フ錯雜シタ令達ヲ廢シマシテ、一定不變ノ法律ニセントスルニ當リ、此時ニ尙ホ舊令ノ不當ナルヲ悟ラヌト云フノハ、私ハ怪訝ニ堪ヘマセヌデアリマス、社寺境外上土地株ノ普通上土地ノ官林ニ異ナル所以ハ、唯今申シマスル如ク既ニ分ッテ居リマスガ、政府案ノ内ニ於テ、社寺上土地株ノタメニ特定サレタモノハ、國有林野法第八條三項第十七條ノ一項及下戻法案ノ第四條此三箇條デアアルノデアル、林野法ノ三項ト云フハ、ドウ云フコトデアアルカト云フト、隨意契約ヲ以テ社寺ニ賣拂ト云フコトデアリマス、政府委員ノ答辯ニ據リマス、其價格ハ此價ヲ以テ社寺ニ賣拂フノデアアル、決シテ社寺ヲ保護スルコト云フ精神ハ、毫モ籠ッテナイト云フコトデアリマス、果シテ政府委員ノ答辯ノ如クナレバ、之ヲ官沒シタノハ無道理デアアル、其無道理ナルニモ拘ラズ、時價ニテ拂下ゲテ、而モ一點社會保護ノ意味ナシト云フニ至ッテハ、如何ニ考慮ヲ費ストモ、其理由

ヲ見ルコトガ出來マセヌ、又同法十七條ノ一項ハ、其社寺ニ委託スルコトヲ得ルト云フノ條項ナレドモ、其方法ハ委託者ニ讓與スベキ林野產物ニ關スル規定若クハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマス、勅令ニ關スル當局者ノ意見ノ草案ヲ見マスルト、第一カラ第六マデ保護ノ義務ト云フコトガアッテ、其保護ノ報酬トシマシテ第一ト第五マデノ林野產物ノ讓與ヲ受クルト出來テ居ル、其內社會ニ對シテハ第五ノ主產物伐採ノトキニ當ッテ、其量ノ百分ノ六十ヲ收得スルト云フダケノ特權デアッテ、其他ハ市町村ヘ委託シタト同様ノ分配方ニナッテ居ル、抑モ市町村ヲ社寺ト略シ、同一視シタルハ、誠ニ其意ヲ得ナイ、市町村ト云フモノハ、其市町村固定ノ財產ト云フモノハ、既ニアリマシテ、縱令斯ウ云フ保護ガゴザイマセヌデモ、決シテ亡滅スルト云フ患ハゴザイマセヌガ、社寺ニ至リマシテハ固定ノ財產ト云フモノハ、即チ林野ノ如キハ、最モ重モナルモノデゴザイマス、氏子若クハ檀徒ノ歸依不歸依ニ依ッテ立ッテ居ル社寺ガ、一條二條ニ關係ヲ有スルハ、即チ上土地トナリタル境外林地ヲ、固定財產ノ重モナルモノトシテ凌イデ居リマス、然ルニ其主產物伐採ノ七分マデヲ政府ニ收メ、僅々三分ヲ社寺ノ所得トスルト云フコトハ、頗ル其當ヲ得マセヌ次第ト思ヒマスルシ、尙又下戻法案第五條ニ、社寺ノ境内ノ用ニ供スルト云フノ規定ガゴザイマスガ、固ヨリ社寺ノ境内ハ、斯クアルベキ答デアリマス、其他ニ於テ普通官林下戻又ハ拂下貸附讓與交換委託等各種目中心ニ、別ニ社寺ト一般ノ官林ト異ナル所ヲ見マセヌノハ、甚ダ穩當デナイト思ヒマス、神寺ノ祭神ハ、歷代ノ天皇又ハ皇族ニアラザレバ、功績アル顯著ナル臣民ノ靈ヲ崇メタルモノデ、又佛教ハ政事ヲ助ケテ國家ニ利益ヲ與ヘタルコトハ、古來其例ガ甚ダ多イノデアアルト私ハ考ヘマス、又我國ノ美術及名所舊跡ノ大部分ハ、多ク社寺ニ存シテ居リマス、社寺ハ我國ノ美觀ノ代名詞ト云ッテモ、敢テ過言デナイト私ハ思フノデアアル、今ヤ條約改正モ實施セラレントスルトキニ當ッテ居リマス、内地雜居ノトキニ當リマシテ、我國ノ美觀ヲ粧飾シ、歐米人ノ注意ヲ促シ、我國土ノ優勝ナルト、我國體ノ貴重ナルヲ知ラシムルハ、實ニ目下ノ急務デゴザイマシテ、忽諸ニヌベカラザルモノデアリマス、果シテサウナラバ、此舊制度ノ錯雜混亂ヲ正シ、一ノ法律ヲ制定スル時ニ當ッテ社寺ニ特典ヲ與ヘルハ、獨リ社寺ノ爲メノミデナイ、國家ノタメ緊要ト思ヒマス、斯ウ云フ必要ガアルニモ拘ラズ、政府ハ一旦國有トシタル舊慣ニ泥ミ、飽マデモ沒理的ノ政策ヲ貫カントスルコトハ、實ニ國家ノ爲メ採ラザル所デアリマス、前年來縷々述べマシタ如ク、社寺上土地處分ノ際境内地ヲ割イテ境外上土地トナシタルハ、絶對的不當ノ處分デアリマス、故ニ從來ノ如ク社寺ノ財產トナシ、維持保存ノ資ニ充ルハ、當然ト思ヒマス、サウ致シマスと或ハツレガ爲メ、濫伐等ノ弊ヲ生ジ、國土保安ト水源涵養ト砂攔止ノ害ヲ來ス患ガナキヲ保シ難キヲ以テ、寧ロ國有林野ノ名稱ヲ保存シ、且保管ヲ社寺ニ委ネテ、府縣知事ノ管轄ニ屬シ農商務大臣ニ於テ監督シタナラバ、濫伐ノ憂ガゴザイマセヌノミナラズ、一面ニハ林區署ノ費用ヲ多少省キマシ

テ、一面ニハ社寺ノ維持保存ヲ全カラシムルト云フ、一舉兩得ノ策ト思ヒマス、故ニ本員ハ此法案ヲ提出シマシタ次第デアリマスカラ、諸君ニ於キマシテ御賛同ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ案ノ通過ヲ希望シテ止マヌ次第デアリマス、若シ其法文中ニイカナイト云フ所ガアリマスレバ、宜シク諸君ノ修正ヲ願ヒマス、政府委員ノ答辯中本案ノ如キ無償無期限、又無制限ニ社寺ニ保管セシムルト云フヨリモ、寧ロ社寺ニヤル方ガ、マシデアルト云ハレマシタガ、政府ガ社寺林ト他ノ官林ト同視シタルハ、間違ッタ話ト思ヒマス、唯今申シマス如ク社寺ノ境内ヲ上地シタルト云フハ、頗ル理由ノナイ筈デアアル、故ニ之ヲ下戻シ又ハ還附ノコトニスルガ、當然デアアルガ、然レドモ之ヲ下戻シタリ、又ハ還附スレバ、濫伐ノ弊ガアルカラ、寧ロ保管ノ儘置カレンコトヲ私ハ望ムノデアアル、今此法案ニ關シマシテ政府委員ガ反對ノ理由中、最モ力アルモノハ無償無期限無責任ト云フ此三點デアリマス、此三點ハ普通ノ林野デモ、矢張同ジコトデアリマス、決シテ獨リ社寺林ノミサウデナイノデアアル、普通ノ林野ヲ下戻セバ、矢張無償無期限無制限ノ三點ガアル、獨リ地租ヲ取ラナイデ、除地ノ儘デ社寺ヲ保管セシムルト云フコトハ、他ノモノト異ツテ居ル、所ガ此社寺林野ハ、唯今申シマス通り漸ク七萬町歩、此七萬町歩ノ地租ヲ假リニ全國ノ山林ノ地租ガ、壹町歩八錢乃至拾錢マデノモノデアアル、其地租ハ七萬町歩ニ對シテ七千圓乃至壹萬圓、假リニ二倍トシテ貳萬圓ト致シマシテモ、些細ノ金額デアリマス、尙ホ古社寺ニ拾五萬圓ノ保存費ヲ、國庫カラ補助シテ居リマスヤウナ次第デアリマスカラ、是非社寺ト云フモノハ、普通ノ林野ト特別ナ法律ヲ設ケテ、社寺ノ維持保存ヲ全カラシムルタメ、國ノ美觀ヲ全カラシムルニ、政府ハ十分保護スル理由ガアルト云フコトヲ考ヘマスカラ、私ノ案ヲ御修正下サルコトハ、免モ角大體ダケハ、存シテ置イテ頂キタイト云フコトヲ私ハ望ミマス

○委員長(杉田定一君) 唯今出水君カラ此先決問題トシテ、出水君カラ御出シニナッタ案ヲ、先キニ議シテ貰ヒタイト云フコトデアリマスガ、併シ段々サウ云フ御修正モアリマセウカラ、下戻法案ノ議事中ニデモ、出來ヤウト思ヒマス、私ハ第一ニ下戻法案、ソレカラ國有林野法案ヲ議スルト云フヤウナコトニシテ、意見ヲ御出シニナル方ガヨカラウト思ヒマス、ドウ云フコトニ致シマセウ

○(高岡忠郷君) 私ハ出水君ニ御照會致シマスガ、今出水君ノ御意見ハ、私ハ贊成デゴザイマス、サリナガラ委員長ノ御説ノ如ク下戻法案ト國有林野法案ヲ議シテ、其所ニ於キマシテ、其時ニ出水君ノ案ヲ議シテ、即チ其精神デ修正スルト云フコトニナツテハ、如何デゴザイマス

○(出水彌太郎君) ソレハ諸君ノ御意見ニ任セマス

○(高岡忠郷君) サウスルト委員長ノ御命ノ如ク致シタイ

○委員長(杉田定一君) サウ致シマスト國有——此森林原野下戻法ノ方カラ、議シテ往キマスコトニ致シマス、ソコデ段々御修正ノ御意見モゴザリマ

セウカラ、逐條デヤツテ往クコトニ致シマス

○(西村眞太郎君) 此決議ニ掛リマス前ニ、一應御尋シタイコトガアル、此下戻法ナリ、林野法ナリ、何レモ大問題デアリマスガ、之レニ付キテハ、餘程鄭重ニ此實行ヲ致シタイ希望ヲ以テ居リマスノデ、森林調查會ト云フモノニ於キマシテ、廣ク有志ヲ集メテ、林野ノ方針ニ付イテ十分ニ調査ヲナシ、又行政ノ處分ノ出來タモノヲ、其會ニ報告シテ、サウシテ林野經濟ノ方針ヲ定ムル參考ニ備ヘルト云フコトニ致シタイ考デアリマス、政府ハ調查會ヲ起スニ付イテ、如何ナル意見ヲ有セラレテ居ルカ、明カニ御方針ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 下戻ノ法律ヲ行ヒマスルニ付キマシテハ、最モ此調查委員ト云フヤウナモノヲ設ケテ、審議致サセテ、而シテ後ニ決定スル方針ヲ以テ居リマス、又國有林野ヲ行ヒマスルニ付キマシテ、御參考書ヲ差上ゲデアアルガ如ク、森林ニ關スル特別ノ經營ヲナシ、又大イニ森林ノ經營ヲナスト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、勿論政府ニ於キマシテハ、調查委員ヲ設ケテ、篤ト審議致サセマス、而シテ後チニ決定スル方針ヲ以テ居リマス、先刻速記ノナイ場合ニ於テ、本會ノ開カレマスル場合ニ於キマシテ、委員長カラ政府ノ意見ト云フコトニ付イテ、御話ガアリマシタガ、全ク其通りデゴザイマシテ、他日森林ノ經營ヲ大イニ致ス場合ニ於キマシテハ、固ヨリ特ニ關係アリ、又ハ學識ヲ備ヘタ所ノ人、經驗ヲ備ヘタ所ノ人ヲ選ミマシテ、審議調查致サセテ、此方針ヲ參酌致シテ、處分スルコトニナリマス、併ナガラ果シテ此場合ニ於テ、調查委員中ニ朝野ノ人ヲ加ヘルト云フコトハ、茲ニ言明スルコトハ出來マセヌ

○(西村眞太郎君) 今ノ御話ニ依レバ、廣ク人ヲ入レル、其人ハ山林ニ詳シク、又相當ノ學識ヲ備ヘテ居ル者等ヲ集メルト云フコトデアレバ、自ラ朝野ノ人ヲ混淆スル意味ヲ推測セラル、斯様ニ信ジテ違ヒアリマセヌカ

○政府委員(藤田四郎君) 或ハサウ云フ場合ニナルカモ知レマセヌガ、茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、多分サウナルダラウトハ思ヒマスガ、ソレハ能ウ申上ゲマセヌ

○(中村彌六君) 私ハ今ノ政府委員ノ御話中ニ付イテ伺ヒマスガ、調查會トヤラノモノヲ御設ケニナツテ、方針ヲ御定メニナル、此森林經營ノ方針ハ、前ヨリ大キクシテアリマスガ、唯今ノ御答ニ依レバ、方針ヲ定メルト云フノ御話デハ、今ノ所ハ、方針ハナイノデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 方針ト云フコトニ付キマシテ、段々先達テ來申上ゲテ、參考等ニモトシテ石版摺ノモノヲ差上ゲテゴザイマスガ、大體アレニ依リマシテ、政府ガ採ル所ノ方針ハ、御了承アルコト、信ジマス、未ダ其法律ヲ施行スルニ、直接ノ法律ガ、未ダ議會ニ提出セラル、場合ニ至ッテ居リマセヌカラ、唯森林原野ノ管理方法ガ出マシタカラト云ツテ、俄ニ是ニ依ッテ今ノ石版摺ノモノヲ行フニ立至ルヤ否ヤハ、兩議院ヲ決議ヲ經タ上デナケレ

バ、ハツキリシタコトヲ申上ゲル譯ニハ行キマセヌ、從ッテ今ノヤウナ御答ヲ致シマシタ、政府ニ於テハ是マデ調査シタ方針ガアリマスガ、併ナガラ愈々調査ヲ行フト云フコトニナリマシテハ、篤ト委員ノ意見等モ聞クト云フコトモ、必要デアラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○(中村彌六君) 管理法ノ方針モアリ、經營法ノ方針モアルガ、尙ホ慎重ニ之ヲ慮ッテ、其方針マデモ御相談ニナルヤウナ機關デモ御拵ヘニナル御答ノヤウデスガ、矢張茲ニ出テ居リマス國有林野ノ下戻法案ト云フモノニ付イテモ、意見デモ御陳述ニナリマスガ、ツレモ伺ッテ置キタイ

○政府委員(藤田四郎君) 下戻法律ヲ行フニ付イテハ、期限モ短カイコトデスカラ、急イデヤラナケレバナリマセヌ、併ナガラ審議調査致サナケレバナリマセヌカラ、無論委員ヲ選シテ、審査サセルト云フ場合ガ、必要デゴザイマス、今日ニ於テモ其形ハ存シテ居リマスガ、未ダ其實ヲ添ヘテ居リマセヌカラ、尙ホ將來此法律ノ成立チマシタ上ハ、ツレ等ニ付イテ一層完全ナル組織ヲスルコトヲ必要ト考ヘマス

○(中村彌六君) 此下戻法案ナルモノハ、法文ニシマスルト僅カニ五條カ六條デゴザイマスガ、ナカノ之ヲ審査スルト云フコトハ、容易ナコトデナクシテ、恐ラクハ今千餘人ノ森林官ガゴザイマシテ、林學士モ出來テゴザイマセウガ、適當ニ此事ニ當ッテ、迅速ニ能ク之ヲ捌ヒテ行クト云フ人ハ、恐ラクハ、私ハ其中ニ二十人ハアルマイト云フコトヲ斷言シテ置キマス、一ツノモノニシマシテモ、實ニ數百年ヲ經テ來タモノヲ、書付ケモアリ斷片——反古紙ノヤウナモノモアリ、以前ノ庄屋ノ手扣モアリ、公文書モアリ、大ナルモノハ一町歩ノ下戻デモ、チヨット言ヒマスレバ、柳行李ニ一パイモアルヤウナモノガ澤山ゴザイマス、是ハ今日マデ十年——明治地租改正以後二十年モ此事ニバカリ從事シテ居ル所ノ人デゴザイマシテモガ、ナカノ面倒ノコトデアッテ、敏活ニ行カナイト云フ位ノコトハ、事實ノ上ニ於テ明ラカデアアル、此事ト云フモノハ、林業ニドノ位明ラカデアモ、林業トハ別デアッテ、寧ろ辯護士デアッテ昔ノ徳川時代ノ地方官ニ餘程精通シタ者デアッテ、始メテ此事ガ行ヘル位デアリマス、今日デハ、餘程是ハ非常ナモノデアラウト思ヒマスガ、果シテサウ云フモノガ、サウ云フコトヲ行ヘルト云フ人ヲ、果シテ手ニ御入レニナルコトガ出來ルカ、單純ニ一ノ法律ノ文ヲ、ア、書ク斯ウ書クト云フ如キモノデヤナイ、各藩三百六十大名カラ、徳川ノ直轄デアッタトカ、大名トカ、社寺トカ、其藩々總テノコトニ付イテ違ッテ居ル、例ヘバ御承知デゴザイマセウガ、納税シタルト云フ字ニ於テモ、秋田藩デハ税ト見做シテ、徳川デハ見做サヌトカ、税ト云フ字モ細カク拾ヒマスレバ、數十通り税ノ種類ガアル、是モ敏活ニ捌ヒテ行クト云フハ、數十年其事ニ熟練シテ居ッテ、農商務大臣配下ニ居リマセヌデモ、其事ニ從事シタモノデナケレバ、捌キガ付カヌト思ヒマス、是等ハサウ云フ適當ノ人ヲ手ニ御入レニナル御考ガゴザイマス

政府委員(藤田四郎君) 本省ニ於キマシテ調査スル所ノ委員ト云フモノハ、固ヨリ官吏ヲシテ調査セシムルノデゴザイマス、又其場合ニ於テ、固ヨリ今日ノ法律規則ヲ心得、昔ノ舊藩時代ノ地方舊慣等モ心得タモノガ、成ルベクサウ云フヤウナモノヲ採用シタイト云フコトハ、固ヨリ希望シテ居リマス、唯今日ニ於テ實際其處分シ得ラル、ニ於テ、政府ハ責任ヲ以テ適當ノ官吏ヲ採用シテ、調査セシムルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○(中村彌六君) サウスルト調査會ハ、官吏ニナリマスガ

○政府委員(藤田四郎君) 下戻シニハ、サウ云フコトニナリマス

○(中村彌六君) ギヤ能ク分リマシタ

○委員長(杉田定一君) 是ヨリ第一條カラ致シマス、尙ホ段々御修正モ、御意見等モゴザイマセウデ、修正ノ御考ノ御方ハ、其修正ヲチヨット書イテ、此方ヘ御出シ下サイ、サウスルト混雜ヲセヌデ宜カラウト思ヒマス

○(中村彌六君) 第一條ダケハ、此處カラチヨット申上ゲマセウ、私ハ斯様な文字ニ改メヤウト思ヒマス「第一條廢藩置縣後官有ニ編入セラレタル土地森林原野ノ立木竹ニ付キ所有分収又ハ收益シタル事實アルモノハ此法律ニ依リ明治三十四年十二月三十一日マデニ主務大臣ニ下戻シノ申請ヲ爲スコトヲ得」ツレカラ次ノ項ニ「前項ノ期限ヲ經過シ又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノハ下戻シノ申請ヲ爲スコトヲ得」但書ヲ入レマス、ツレデ此修正ノ大要ヲ申上ゲマスルト云フト、地租改正ノ當時ニ當リマシテ、人民ノ所有トスベキモノモ、遂ニ其時ノ村長、即チ庄屋其他ノ手違ヒ不行居ヨリ官有ニ編入シタルモノ、又ハ脫漏シタルモノモゴザイマスガ、是同様ニ廢藩置縣ノトキニ當リマシテ、特ニ地租改正ノ前デゴザイマシテモ、是ト事實ハ同ジヤウデアッテ、廢藩置縣ノゴタノ際ニ於キマシテ、其時ニ從來ノ藩ノ官林デアッタト云フノト、人民ノ所有デアッタト云フノト、新ノ縣ニ引續ノ際ニ、大變ニ同様ノ事實デアッテ、官林ニ編入シタルモノモゴザイマス、是ハ同ジ事實デゴザイマスカラ、前ニ溯ルト云フ精神ガ一ツ、モウ一ツト、原案ニハ社地上地所分及地租改正トゴザイマス、此地租改正ノトキノ以後、明治十六七年ニ至ッテ官林ニ編入シタルモノガアリマス、ツレハ從來ノ村持共有山ノ如キ、假ニ公有地ノ名ヲ以テ存シテ居ッタモノガ、地租改正ガ出來マシテ、之ヲ取敢ズ直チニ官有ニ編シテシマッタ例モゴザイマス、地租改正ノ當時ノ處分バカリデハナイ、其以後ニモアリ、其前ニモアリマスカラシテ、是ダケノモノヲ加ヘタノト、モウ一ツハ、現ニ「國有」ト云フ文字ヲ拔カレタノハ、矢張其當時民有ニナルベキモノヲ、誤ッテ官林ニ編入シテ、其誤ナリニ第三者ノ一個人、又ハ御料局ノ方ヘ引繼イダモノガアル、誤ナリニ官有ニ編入スベカラザルモノヲ編入シテ、ツレナリニ引繼イダモノガゴザイマスカラ、現ニ國有トバカリデゴザイマスルト、此法律ノ範圍ガ、甚ダ狹クナリマスカラ、均シク此法律ニ均霑スルコトガ出來ナイ場處ガゴザ

イマス、故ニ「現ニ國有」ト云フ字ハ、省イタノデゴザイマス、ツレデ又所有分
收ト云フ文字ノ所ニ、收益ト云フ字ヲ入レマシタノハ、是モ政府委員ノ説明
ニ依ルト、部分林ト云フモノニ限ル説明デスガ、縱令其名ハナクテモ、事
實ノ上、部分林ト同様ニシテ、收益ヲシタモノモアリマス、之ヲ廣ク入レル
タメニ、是ダケノ文字ヲ挿入致シマシタ、ツレカラシテ前項ノ但書ニハ、是
ハ茲デ同様ニ政府委員ガ御説明ニナリマシテモ、ドウ致シマシテモ、此法文
デ見マスレバ、處分ヲ受ケタモノハ拂戻シハ出來ナイト云フ解釋ガ、出來マ
スカラ、處分ヲ受ケタル者デモ、新ナル證據ガアレバ、其新事實ニ依ッテ申
請ヲスルカラ、前項ノコトニ關係セズ、取上ゲタルト云フコトニナリマセヌ
ト往キマセヌカラ、是ダケノモノヲ入レマシタ

○(關信之助君) 私ハ此場合ニ於テ意見ヲ述ベマス、一體唯今ノ御修正ニ依
リマス、此第一條ノ中ニハ、帝室ノ御財産御料林モ含蓄シテ居ルヤウナコ
トデアリマス、此事ニ付キマシテハ、本委員會開會ノ當時ヨリ農商務大臣ヲ
煩ハシ、且又委員諸君ノ中ヨリ國有ニナッタコトヲ聽キマシタ、然ルニ其最
初ニ農商務大臣ノ答フル所ニ依レバ、ドウシテモ此法律案ニ加ヘルコトハ、宮
内大臣ガ同意スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居マス、サスレバ此場
合ニ於キマシテハ、御料林ト云フモノハ、此法案ニ加フベキモノヤ否ヤ、此
先決問題ニ附イテ討論ヲ致シ、御料林ヲ加ヘルト云フコトニナツテ、始メテ
中村君ノ修正説ガ起ルノデアル、此御料林ト云フコトガ、此中ニ加フルベカラ
ズト云フコトニ、多數ガ決シタナラバ、御料林ト云フコトハ、字句ノ間カラ
省イテ宜カラウト思ヒマスカラ、此法案ニ對シテ御料林ト云フコトヲ加ヘル
カ、又御料林ト云フコトヲ加ヘルコトガ出來ナイカト云フコトニ付イテ、茲
デ一ツノ先決問題トシテ御極メニナリタイ、然ル後ニ政府案ニ取り掛ルコト
ニ致シタイ

(贊成)ト呼フモノアリ

○(松島廉作君) 私ハ此事ニ……

○委員長(杉田定一君) 先決問題ニ付イテデスカ

○(松島廉作君) 左様デゴザイマス、私ハ唯今茲ニ先決問題トシテ極メル必
要ハアルマイト思ヒマス、丁度御料林ニ屬スル土地ト、此國有ニ屬スル土地
トノ關係ハ、唯今出水君カラ申サレマシタ社寺林ト、其他ノ森林トノ關係ト
同ジデアル、是ハ後ニ至ッテ其箇條ガアルカラ、其箇條ノ所ニ於テ修正ガア
レバ、修正ヲ出シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、今茲ニ先決問題トシテ議ス必
要ハナイト思ヒマスカラ、或ハ國有ト云フ字ヲ除クカ、除カナイカト云フコ
トニ付イテハ、滿場諸君ノ見ル所ニ依ッテ、修正ヲナスッテ宜カラウト思ヒ
マス、唯今此場合ニ於テ、先決問題トシテ議スル必要ハナイ、後ニ至ッテ修
正説ヲ提出致シマシタナラバ、其時ニ於テシテモ、宜カラウト思ヒマス、成ル
ベクハ唯今先ッテ此一條ダケニ致シタイ

○(關信之介君) 唯今松島君ノ意見モゴザイマシタガ、此法律案ヲ見マスル

ニ、一方ハ此際御料林ハ加ハルモノデアル、又一方ハ加ハラナイモノデアル
ト云フ、議論ノアルヤウナ法律ヲ茲ニ於テ拵ヘルト云フコトハ、宜シクナイ
ト思フ、故ニ此御料林ト云フモノハ、本案ニ付イテハ加ハルベカラザルモノ
カ、加ハルベキモノデアルカト云フコトヲ決シナケレバナラヌ、一方ハ御料
林ガ加ハルト解釋シ、一方ハ加ハラナイト解釋ヲスルヤウナ曖昧ナコトハ、
苟モ立法部ノ委員會トシテ、アルベカラザルコト、存ジマスカラ、本案ニ付
イテハ何人ガ見テモ、御料林ガ加ハルカ、加ハラナイカト云フコトガ、一目
瞭然ニ分ルヤウニナリマスル方ガ、相當ナコト、考ヘマスカラ、是非此先決
問題ニ付イテ、採決アラフコトヲ希望致シマス

○委員長(杉田定一君) サウ致シマス、關君ノハ、此一條ヲ議スル前ニ當
テ、御料林ヲ加ヘルカ加ヘナイカト云フコトニ付イテ、先決致シタイト云フ
コトデアリマス、併シ松島君ノ話ハ、今議スル際ニ當ッテセヌデモ、後ノ箇
條ノトキニ當ッテ、御料林ニ付イテ修正案ガ出タトキニ、可否ヲ論ジタラ宜カ
ラウト云フ話シデアリマス、サウスルト關君ノ此下戻法案ヲ議スル前ニ當ッ
テ、御料林ハ加ハルカ加ハラナイカト云フコトヲ、先ニ議スルト云フ此事ニ
御同意ノ御方ハ、手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 八人

○委員長(杉田定一君) 十七人居リマスカラ、サウスルト正半數デゴザイマ
スガ、此場合ハドウシマセウカ——ツレデハ、反對ノ方カラ採ッテ見セウ、反
對ノ御方ハ、手ヲ御舉ゲナスッテ下サイ

舉手數 同數

○委員長(杉田定一君) 同數デアリマス

(委員長ガ採決シテ下サイト呼フ者アリ)

○委員長(杉田定一君) ツレナラバ委員長ノ意見デ、採決ヲ致シマス、私ハ
關君ノ方ニ贊成致シマス、順序ハ御料林ヲ加ヘルカ加ヘヌカト云フコトヲ、
先キニ議スルノデゴザイマス

○(關信之介君) 私ハ御料林ハ、此法案ニハ加ヘナイノガ、當然デアルト考
ヘマス、何トナレバ、此事ニ付イテハ、隨分此委員會ニ於テモ、苦心ヲ致シテ農
商務大臣ヲ煩ハシ、且又有志諸君ニ於テモ、宮内大臣ニ向ッテ懇切ニ照會ニ
ナッタト云フコトモ承リ、且ツ農商務大臣ヨリモ承ッタ所デアリマス、而シ
テ其結果ト致シテ、昨日ノ委員會ノ中ノ協議會デ議シテ、尙ホ農商務大臣ニ
向ッテ本日ノ十二時マデニ、宮内大臣ニ交渉シテ吳レト頼ンダ、其結果矢張
ドウシテモ宮内大臣ニ於テハ、此法案ニ加フルコトニ同意ガ出來ナイト云フ
確答ガアッタト云フコトヲ、農商務大臣ガ報告ニナツタ元來此帝室ノ財産ト
云フコトハ、ドンナモノデアルカ、其手續ニ於テハ、過日中村君ヨリ述ベラ
レタ通り、穩デナイコトガアルカモ知レマセヌ、又帝室ノ財産ト云フナラバ、
個人ノ所有權ヲ移シテ、帝室ノ所有權ニ移スノト選ブ所ハナイ、然ルニ所有
權ヲ有シテ居ル帝室ニ於テ、御同意ガナイニモ拘ハラズ、此立法部ニ於テ、

茲ニ法律ヲ拵ラヘ、ソレヲ以テ帝室ノ財産ヲ強制シテ、下戻ストカ下戻サナイ
トカ云フ、サウ云フ權能ハナイト思フ、故ニ此法案ニハ、帝室ノ御料林ト云
フモノハ、加ヘヌノガ當然デアルト思ヒマス

○(首藤陸三君) 私ハ三回モ四回モ質問ヲシ、専ラ御料林ノコトニ附イテ質
問ヲシタノデアリマスガ、現在一府六縣ト云フモノハ、全ク其當時過ッテ御
料林ニ屬シタト云フコトハ誤謬デアアル、今此法律ノ施行セラル、ニ當ッテ、
一府六縣其他ノ府縣ニモ、御料林ガアリマス、ソレ等ノモノハ恩惠ヲ蒙ル
コトガ出來ル、此法律ノ利益ヲ受ケルコトガ出來ル、一府六縣ハ全ク御料林
デアアルガ、法律ヲ適用スルコトガ出來ナイト云フ所ノ精神ヲ以テ、此議會ガ
此法律ヲ議シテ往キマスレバ、唯今關君ノ言ハレタ先決問題ハ、是カラ極メ
テ往カウト云フコトデアアルガ、若シ立法部ノ權能トシテ、是マデ農商務大臣
ヲ經テ宮内大臣ニ交渉ヲシタトカ、或ハ斯ノ如キコトデアッタト云フノハ、内
部ノ話デ、此議會ガ——委員會ガ圓滿ニ出來ルナラバ、相當ノコトニシテ圓滿
ニ纏メタイト云フ趣意カラ起ッタノデ、此委員會若クハ帝國議會ノ權能トシ
テ、今一國ノ森林法案ト云フモノヲ議定スル場合ニ際シテ、唯一部ノ國有ノ
山林ダケ議スルノデハナイ、苟クモ國ノ森林法案デアアル、一國ノ——帝國ノ
森林法案デアリマスカラ、帝室ノ御料林ニシテ誤ッテ御料ニ編入シテ、天下
ノ人民ハ非常ナ不利益ヲ受ケテ居ルナラバ、吾々ノ權能トシテ之ヲ差加ヘテ
往クコトニシテ、農商務大臣ヲ經テ斯クノ異議ヲ聞イタカラ、吾々ノ立
法部ノ權能ハ、斯様ナ事情ヲ聞イテ居ルカラ、止サウト云フコトハ、吾々ノ
權能デナイ、一方ハ帝國議會ガ此事ヲ例ヘバ、此法律ヲ制定スルニ當ッテ、此
法律ハ御料林ニ適用スルコト云フ箇條ヲ加ヘタナラバ、帝室ニ於ケラレテ一
ノ標準ニ附イテ、斯ノ如ク不平均ナル御料林ニ屬シタモノハ、一個人ノ權利
同様一個ノ權利ニナッテ居リマシテ、吾々ノ手ヲ入ル、コトノ出來ナイ、此
法律ヲ適用スルコトノ出來ナイト云フコトデナク、御料ニ屬スルモノデ、不
平均ガアッタナラバ、此法律ノ施行ト同時ニ御料ニ於テハ、此法律ヲ適用セ
ラル、コトハ、却テ 聖旨ノ思召ニ適フカ知ラン、ソレヲ不公平ト認メテ、
先日色々御話モアリマシテ、御料ニ屬シタ土地ヲ民有ニ御下戻ニナッタ曉ニ
ハ、此法律ニ依ッテ下戻シタ以後ニハ、御料ニ編入シヤウト云フ考案モ持ッ
テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ御料ノ御財産ヲ吾々人民ノ方デ以テ取戻シテ、
ソレヲ減ラスト云フ意味デナイト云フコトハ、明ニナッテ居ルコトデゴザイ
マス、此法律ヲ施行セラル、ニ當ッテハ、帝國ニ一視同仁ノ法律トシテ、之
ヲ施行スルコトヲ希望ノ至リニ堪ヘヌノデアリマス、吾々ガ本會ニ當ッテ、
是等ノコトヲ別ニ懸念スル必要ハナイト思ヒマス

○(中村彌六君) 私ハ殊ニ修正ノ意見モ提出シタモノデゴザイマスデ、大體
ニ附イテ申上ゲマスガ

○委員長(杉田定一君) 御料林ニ附イテマスカ
○(中村彌六君) 左様デゴザイマス、此修正シマシタ中ニ、第三者ト云フモ

ノモ這入ッテ居ル、何レモ法律ノ側ニ於キマシテハ、帝室ヲ何人モ此區別ハ
シナイ積リ、此國有ト云フコトニ編入セラレタモノハ、大體ノ精神ニ於テハ、
第三者ニ移リマシタモノト雖モ、盡ク其過キヲ訂正スルト云フ趣意ガ、一デ
アッテ、其ノ中ノ一部分ニ御料モ這入ッテ居ルノデアアル、何故ニ御料モ此處ニ
入レマシテ、差支ナイカト云フコトハ、是ハ法律上ニ於テ差支ナイ積リデ、
先般來此帝室ノ方ニ——宮内省ニ交渉致シマシタ所以ト云フモノハ、第三者
ニ移リマシタルト云フヒマスモノ、帝室ハ別物デゴザイマスガ故ニ、尙ホ
此事ハ帝室ニ敬意ヲ表スルタメニ、願ハクハ堂々ト此帝室ノ御料ニ移ッタガ故
ニ、人民ハ下戻ガ出來ヌ以上ニナルト人民ハ、帝室ノ恩澤ニ浴セズシテ、人
民ノ權利ヲ殺ガル、コトハ、議會デ何處マデモ論シナケレハナラヌ、ソレハ
吾々ハ憚ル故ニ、論ゼズニ濟マヤウニシタイト云フノガ、即チ宮内大臣ニ交渉
シタ所以デゴザイマスガ、宮内大臣ニ於テ道理ガ分リマセヌ以上ハ、是ニ於
テ已ムヲ得ズ、即チ立法權ノ範圍内ニ於テ、之ヲスルヨリ外ニ仕方ガナイト
云フノデ、此修正案ヲ出シタノデゴザイマス、ソレデ第一ニ此先般申上ゲ
マシタ通り、是ハ今御料ニ屬シテ居ルモノニ對シテ、新ニ人民ガ斯ノ如キ權
利ヲ得ルト云フノデナクシテ、從來モ二十三年以來今日マデ、政府モドノ政
府デモ、適當ト見做シ、ドノ場合ニ於テモ、衆議院デモ、適當ト見做シテ居
タガ故ニ、二十三年以來御料ノ地ヲ下戻スニ附イテ、宮内大臣ガ行政權ヲ以
テ處分シテ居ッテモ、議會デハ一點ニ對シテ非難ヲシナカッタ、ドノ當局
者モ當然ト見做シタノハ、外デモゴザイマセヌ、即チ段々ノ歴史モゴザイマ
スケレドモガ、明治七年ノ十一月ノ百二十號ニ於キマシテハ、此官有地ト云
フ中ニ於キマシテ——是ハ未ダ廢止ニナリマセヌカラ、法律ノ效能ハアルノ
デ、其中ニ於キマシテ、官有地ト云フ中ニ御料地マデ編入サレテ居ル、官有地
ノ中デ御料ノ中ニ這入ルノガ、無用デアルナラバ、一個人ノ持ット云フノト共
有ト云フノト同ジデアアル、苟モ明治七年ノ土地名稱區別ノ法律ガナクナラヌ
以上ト云フモノハ、斷然ハ普通ノコトデアアル、今日ニ至リマシテ一昨年邊
リカラ、國有ト云フモノト同ジク之ヲ見做シテ宜イト云フコトデ、是ハ今日
始マツタ議論デナクシテ、當局者ニ於テ農商務省ニ於テモ、其意見ヲ持ッテ
居ッタ、ソレハ既ニ御料ニ屬シマシタ後ニ當リマシテ——御料ニ屬シマシタ
ノハ確カ明治二十二年ト覺ヘマスガ、其後ニ至リマシテモガ、農商務省デハ
殊ニ訓令ヲ發シテ、皆此官有ニ屬シテ居ル森林原野ト云フモノハ、農商務
省ニ斯様々々ノ手續ヲ以テ願出セト云フコトヲシテ、其訓令ノ中ニハ正サシ
ク御料ノ中モ這入ッテ居ル、宮内省デモ其當局者モ訓令ヲシ、御料ニ於テモガ、
ソレダケノコトハ勿論當然ノ解釋ト認定シタ、故ニ、御料ニ屬シタモノデモ、
人民カラ願出レバ、裁判ヲシテ下戻ヲ請フト云フコトヲシタノデアアル、既ニ
其事ハ今日マデ來ッテ差支ナイノニ拘ハラズ、ナンド斯ウ云フ議論ガ出來
タカト云ヒマス、ソレハ即チ昨年ノ春デゴザイマシタカ、伊東巳代治男ガ農
商務大臣ニナリマシタトキニ、恰モ此御料ノ中デ不必要ナル御料地ト云フモ

ノ、拂下ヲシタ、其時ニ元ト入用デアルカラコソ、官林ノ中ヲ割イテ御料ノ山林ニ屬シタケレドモ、之ヲ不用トシテ拂下ゲル位ナラバ、元ノ官有ノ方ニ編入シ直スト云フコトヲ懸合タ所ガ、ソレガ出來ル出來スト云フコトノツイ喧嘩ヨリシテ、宮内大臣ハ其當時ニ當ッテ——今モ矢張宮内大臣デアルガ、ドウカ斯ウ云フコトハ、人民ノ願ッテ來タモノヲ許可セヌト云フ曉ニナリマス、直ダニ帝室ヲ相手取ラレテ裁判上ニシナケレバナラヌト云フコトニナッテ、御威嚴ニ關スルコトダカラ、農商務省ニ取扱ッテ欲シイト云フコトデ、今日ハ不同意ダト云フ其人ガ、現ニ二度モ農商務ニ洩シタ、農商務ハ職權ヲ以テスルト云フコトデゴザイマシテ、遂ニ省令十三號又何カヲ發シテ、職權ヲ以テヤツタ、農商務デハ從來二十三年以來——御料ニ屬セザル以前ヨリ其後ニ引續イテ、十箇年モ議會モ適當ト看做シ、行政廳モ適當ト見テヤツタモノヲ、單ニ手續ヲ施行シテ、此法律ノ效能モ無効ニシタ、此法律ヲ無効ニセラレタト云フモノハ、一府六縣ト他ニ大分邊リガアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスルガ故ニ、決シテ是ハ今般々御話ノアリマスルヤウナ歴史ノ上ニ於テノコトヲ、唯從來ハ不文律デアッタモノモ、茲ニ成文律ニスルト云フノニ過ギヌモノデ、新タニ御料ノタメニ、斯ウ云フ制裁ヲ加ヘ、又ハ人民ニ權利ヲ與ヘルト云フ話デナイ、從來行政取扱ッタコトヲ吾々ハ適當ト看做シ、之ヲ成文律ニスルトデアアルガタメニ、其事ヲ御承知ヲ願ヒタイ、總テノコトハ例ガ惡イカ知リマセヌガ、器物ニシマシテモ、入ルベカラザルモノヲ假リニ御買上ゲニナツタト思ヒナサイ、入ルベカラザルモノガ入ッダノダカラ、御料ニ屬シタ所ガ、其品ガ適當ノ賣買デ往カヌナラバ、御返シガ出來ヌケレバナラヌ、今日官林ニ入ルベカラザルモノヲ官林ニ入レテ、其儘御料ニ入レタノハ不都合デアアル、入ルベカラザルモノヲ入レタノデアアルカラ、ソレヲ元トニ返スト云フ法律ニ過ギナイ、此コトハ適當ニ御解釋ガ願ヒタイ、宮内大臣ガ不同意ト云フコトハ、是ハ宮内大臣ガサウ云ハナケレバナラヌ行掛リガアル、農商務大臣モ今更宮内大臣ニ、斯ウ云フコトヲ云ウテ行クコトハ、出來ヌ行掛リニナッテ居ル

〔採決々々〕ト呼ビ又「分ッテ居ル」ト呼フ者アリ

○(松島廉作君) 立論ノ趣意ガ違ッテ居ルカラ、發言ヲ御許ヲ願ヒタイ——中村君カラ段々歴史ノ御話ガアリマシタガ、私ガ先刻此コトヲ議スルニ於テハ、修正意見ガアルカラ、御許ヲ希望シタノハ、御料ノコトヲ入レル入レヌト云フコトハ、帝室ノ御稜威ニ關シ、或ハ帝室ノ御信威ニ關スルト云フコトデ、出來難イデゴザイマスルガタメニ、委員諸君ノ御贊成ヲ得兼ネルト云フノデゴザイマスルカラ、吾々ノ十分發表スルニ足ルト云フ場合ニ至ッテ、議シタイト云フコトデゴザイマス、然ルニ唯今第一條ノ字句ヲ修正スル場合デゴザイマス、此間宮内大臣ニ出マシタリ、或ハ農商務大臣ニ交渉致シマシタコトハ、其顛末ハ既ニ諸君ノ御承知ノコト、思ヒマス、私共ハ御料ノコトヲ加ヘタイト思ヒマスガ、決シテ帝室ノ御稜威ニ關スルコトヲ彼是致ス譯デハ

ナイ、唯今般々歴史ノ御話ガアリマシタガ、抑國ト申スモノハ、帝室ノ御料ニ差上ゲル必要ガアッテ、差上ゲルナラバ、其時ニ十分調査シテ、少シデモ混タモノガ這入ッテ居リマスルヤウナコトヲシテ、全體帝室ノ方ヘ差上ゲルベキモノデナイ、此點ニ於テハ、先ツ第一ニ私ハ、其當時ノ當局者ヲ責メナケレバナラヌ、又今日ニナリマシテハ、獨リ當局者ノミナラズ吾々ガ若シ之ヲ不問ニ置イテ、帝室御料ニ屬シテ居ルコトデアアルカラト云ウテ、之ヲ冷淡ニ附スルナラバ、吾々共モ責任ガアルト思フ、何トナレバ帝室御料ト致シマシテ、一時ノ御所有ニナッテ、入レラレマス分モアリマスルカ知リマセヌガ、併ナガラ其内ニ世傳御料トナリマシテ 皇室ト共ニ長ク無窮ニ傳ヘマスヤウナ御財產モ含有シテ居ルデアリマス、故ニ若シ其御財產ノ中デ、誠ニ恐レ入ルコトデアリマスガ、人民ニ於テ御恨ミ申スガ如キモノヲ、其中ニ含有セシメテ置クコトハ、甚ダ宜シクナイコトデアリマス、當時ノ當局者ハ申スニ及バズ、今日ノ吾々ノ罪デアルト云フコトハ、注意シナケレバナラヌ、ソコガ私共御料地ニ關シテ、斯ウ云フ法律ヲ極メマスルト云フ基デアアル、斯様ナコトハ一ツ能ク御了解下サルヤウニ願ヒタイ、併ナガラ今ハ入レルヤ否ヤノ問題デアリマス、今入レ方ニ付イテ、如何ニスルト云フコトハ、討議スルコトガ出來ヌカ知リマセヌガ、ソレハ前申シマス如ク其時機ニ達シテ、修正意見ヲ出シタイト申シマス譯デゴザリマス、私共ノ精神ハ、當時御料地デアリマシテモ、御差支ノナイ部分デアリマスナラバ、民有ノ證據ガアリマス分ハ、農商務省ニ申請致シマシテ、相當ノ手續ヲ以テ、ソレヲ元トノ所有者ニ下附スル、其代リソレダケ御料ノ財產ガ減リマスカラ、ソレデ同額以上ノ國有土地森林ノ立竹木ト云フモノヲ、更ニ御料ニ編入致ス、併ナガラ此下戻スベキ森林ガ、世傳御料ニ屬シテ居レバ、ソレト同ジ價額ノ土地ヲ、其申請者ニ下附スルト云フコトニ致シタイ、又何故サウ致サナケレバナラヌカト申シマス、元來是ダケ不調ベノ儘差上ゲテアルノ下附スレバ、ソレダケ減リマス、若シ初メヨリソレダケノ必要ガナイモノガ、差上ゲテアルナラバ、ソレマデ、アルガ、併ナガラソレダケノ必要ガアッテ、初メカラ差上ゲテ、其内ニ間違ッタモノガアッテ、ソレヲ戻シマスナラバ、ドウシテモ元トノ額ニ充チマスルマデノコトハ、致サナケレバナラヌ、是ガ又世傳御料ノ如キモノデアリマスレバ、今ニ於テ之ヲ移動スルト云フコトハ、甚ダ憚リアルコトデアアルカラ、恐ラク出來ヌコトデアアラウト思フ、ソレガタメニ之レニ向ッテハ、其原地ヲ下戻スコトハ、致シ兼ネマスガ、其代リニ其代地ヲ申請者ニ下付致シマス、抑、此土地ト申スモノニ對シテ、ソレニ接近シテ居リマス村落ノモノガ、即チ今日世傳御料ニナッテ居ルモノヲ、始緒眺メテ居ッテ、斯ウ云フ處置ヲ受ケタタメニ、長ク不幸ノ域ニ沈淪シテ居ラナクテハナラヌト云フ、斯様ナ事柄ヲ殘シテ置イテ、サウシテソレヲ帝室ノ財產ニ致シテ置クコトハ、甚ダ相濟マヌコトデアアルト思フ、御料ノコトデアアルカラ、是ハ當局者ニ委セテ置イテヨカラウト云フ御說モアルガ、屢々交渉ヲシタコトハ御承知デアラ

ウガ、如何ニモ御料局デナサルト云ヘバ、其他ノ官衙ニ持出スコトハ出來ヌ
ノデアアル、矢張一ノ御料ハ、宮内省ノ中ノ或ル官衙デ處分シタコトハ、又他
ノ官デ處分スルニ過ギナイノデ、外ニ持出スコトハ出來ナイ、過日來カラ御
話ノアツタ通り、此内務大臣ガ間違ヲシテ居ルト云フコトハ、御承知ノ通り
デ、即チサウ云フ場合ニ於テハ、民事ニセラルガ當然デ、外デモヤッテ居ル
ト云ハレルガ、宮内大臣モ同様ノ誤解ヲサレテ居ルノデ、段々交渉ヲ重ネ
テ、今日ニ至ッテハ殆ド民事ノ裁判所ニ出ル途ハナイノデ、ドウシテモ宮内
省デハ、寛大ノ處置ヲ御取リニナルニ相違ナイノデ、寛大ノ處置ヲ御取リニナ
ルナラバ、總テ持出スモノヲ御許可ニナルヤウニナラナレバナラヌ譯ニナ
ル、或ハ又サウデナク、宮内省ノ見ル所ニ依ッテ裁判ヲシテ、ツレデ構ハヌコト
ニナルナラバ、恐ラクバ處分ニ不服ノモノハ、帝室ニ對シテ恐レ多イコトデア
ルガ、長ク怨ヲ飲ンデ止マナケレバナラヌト云フ不幸ニ陷井ルト思ヒマス、要
スルニ茲デ御料ヲ入レテ置クト申シマスルニ、吾々精神デハ、此際ニ十分混
淆シテ居ルモノヲ整然トシテ、差支ノアルモノハ、臺帳ヲ以テ人民ニ下附ヲ
スルナリシテ、帝室ノ御不利益ニナラズ、國家ノ勤ムベキ事ヲ勸メテ、サウ
シテ人民ヲシテ同様法律ノ恩澤ニ浴セシムルコトノ出來ルヤウニシテ、帝室
ヲシテ人民ノ怨トナルコトヲ避ケタイト云フノ希望デゴザイマス、聊カモ帝
室ノ御財産ヲ減ジタリ、或ハ帝室ノ御料ニ關スルコトハ、遠慮ナク申スト云
フヤウナ譯デハアリマセヌカラ、願ハクバドウカ御賛成ヲ希望スルノデアリ
マス

○(有村連君) 唯今色々御論ガアルヤウデスガ、是ハ御料ノコトヲ入レルト
カ、入レヌトカ云フコトヲ、賛否ヲ表スルノデスカ
○委員長(杉田定一君) サウデス
○(佐々木正藏君) 御料林ノコトヲ入レルト云フ其精神ニ於テハ、少シモ
變ツタコトハアリマセヌケレドモ、此法律案中ニ其コトヲ記載スルニハ、御
同意スルコトガ出來ナイ、ツレハ事實ノ上ニ付イテ、農商務デ處分スルヨリ却
テ寛大ノ處分ヲ、宮内省ノ方デスルト云フコトヲ確信シテ居ルノデゴザイマ
ス、若シ農商務省ノ法案ガ出來テ、法律ニ依ッテ總テ處分ヲスルト云フノニ、
宮内省ハ矢張此法律ガナイカラト云ウテ、少シモ採用ガナク、相當ノ處分
ガナイト云フコトニナツタナラバ、ツレヲ立法部ハ見通シニスルコトハナイ
ト思ヒマス、今日デ云フト決シテ不釣合ノコトハナイト、處分ガ出來ルモノ
ト確信シテ居リマスカラ、法案中ニ加フルト云フコトニシナクテモ宜カラウ
ト思ヒマス

○(高岡忠郷君) 關君ノ法案中ニ入レナイト云フノハ、同一ノ處分ヲ受ケル
モノト確信シテ御違リニナル御積リデアリマスカ
○(關信之介君) サウデス
○政府委員(藤田四郎君) 御參考マデニ申シテ置キマスガ、前々ノ時ニモ私
カラ中上ゲテ置キマシタガ、固ヨリ政府ニ於キマシテモ、提出サレタ法案ノ

如キモノガ、兩議院デ議決セラル、場合ニ於キマシテハ、宮中ニ置カレマシ
テモ、之ニ類似ノ規定ガ設ケラレ、コトハ、確信シテ居リマス、尙ホ諸君ガ
ノ御希望ニ依ッテ、交渉シタトキニ其答ヲ得テ居リマスカラ、其點ヲ一々明
カニ申シテ置キマス
○(松島廉作君) 此交渉ノ顛末ヲ總テノ人ニ明カニスルタメ、詳細ニ御報告
ヲ願ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 宮内省ト交渉ノコトニ附イテ、委員長理事ノ方ヨ
リ御依頼ノコトガアリ、本會議ニ於テモ御依頼ガアリマシテ、數回農商務大
臣ガ、二回モ三回マデモ四回マデ宮内省ニ足ヲ運ビ、宮内大臣ト面晤セラ
レ、山林局長モ宮内省ニ出テツレ、協議ヲ致シマシタ、最初ノ場合ニ於キ
マシテハ、既ニ先達御答申シマシタ如ク、宮内省ニ於キマシテハ、此法律ノ
中ニ同様ノ規定ヲ設クルコトハ、希望シナイト云フコトノ確答ガゴザイマシ
テ、尙ホ諸君ノ御希望モゴザイマシテ、更ニ交渉ヲ致シマシタ、ツレニ依リ
マスト御料ニ屬スル山林原野ハ、下戻法中ニ載セルハ困ルト云フコトヲ、又
政府モ勿論ツレガ適當ノコト、確信シテ居リマス、唯宮中ニ於キマシテハ、元
ヨリ帝室ノ御財産ニ屬シテ居ルトハ云ヘ、元ヨリ帝室ノ御仁惠ニ依リマシテ、
此法律ト同様ノ恩澤ヲ受ケルコトガアルコトト確信シテ居リマスシ、且其事
ノ御答モ得テ居リマスカラ、此段茲ニ申シテ置キマス
○委員長(杉田定一君) 決ヲ採リマス、關君ノ此料地ノコトヲ本案ニ入レナ
イト云フコトニ、御同意ノ諸君ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 多數
○委員長(杉田定一君) 多數、ツレデハ入レヌコトニ決シマス
○(西谷金藏君) 是カラ逐條ノ議論ニナルノデスガ、委員長ガ先程申シマシ
タヤウニ、銘々意見ヲ書イテ來テ、サウシテ議事ヲヤレバ、大變ニ運ビ方ガ、
宜カラウト思ヒマス
〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
○委員長(杉田定一君) ツレデハ銘々意見書ヲ拵ヘテ來テ、ツレヲ纏メテ、然
ル後ニ開會スルト云フコトニシテ、明日午後一時ヨリ開會スルコトニ致シマ
ス、今日ハ散會
午後四時十九分散會